

在スロバキア日本国大使館

政治・経済月報（2021年4月）

目次

新型コロナウイルス

◆4月30日現在の感染情報等	2
◆露ワクチン「スプートニクV」を巡る動き	2
◆ワクチン優先接種に関する保健省プレスリリース	3
◆3月の変異株ゲノム解析結果	3
◆4月19日以降の規制緩和	4
◆4月26～27日以降の規制緩和	4
◆4月29日以降の緊急事態宣言及び外出禁止令の延長	4
◆5月3日以降の規制緩和	4

内政

◆ヘゲル政権の任命	5
◆政党支持率調査結果	5
◆欧州復興基金に基づく復興・強靱化計画の政府承認、欧州委への送付	6

外政

◆スロバキアによる露外交官の追放	7
------------------	---

社会

◆2020年のスロバキアの平均寿命	8
-------------------	---

経済

◆経済省による国家水素戦略案の閣議提出	8
◆2021年の経済省の優先事項	8
◆2020年の財政赤字及び政府債務	9
◆水素列車運行計画	9

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

新型コロナウイルス

◆4月30日現在の感染情報等

- (1) 4月のPCR検査に基づく新規感染者数は2万231名（3月は5万3564名）、4月の死者数は1942名（3月は2520名）。
- (2) 4月30日時点のPCR検査に基づく累積感染者数は38万2720名（前日比+509名）。4月30日の検査数は8431件。
- (3) 4月30日時点の累積死者数は1万1732名（前日比+48名）。
- (4) 4月30日時点の1回目の累積ワクチン接種者数は107万6421名（前日比+1万2821名）、2回目の同接種者数は49万8352名（前日比+6239名）。

◆露ワクチン「スプートニクV」を巡る動き（4月9～28日付当地各紙）

【スロバキア当局によるスプートニクVの検証結果発表】

4月8日、国立医薬品管理機構（SUKL）は、3月1日にスロバキアに到着したスプートニクVの品質及び安全性に関する結論を出せない旨表明した。SUKLは、「ロシア側はスプートニクVの検証に必要なデータの80%を提供しなかった。また、スロバキアに到着したスプートニクVは、ランセット誌掲載論文で紹介されていたスプートニクVとは別物であり、バッチ番号やワクチンの性質が異なっていた」とコメントした。

【ロシアによるスプートニクVの返還要求】

4月8日、露直接投資基金（RDIF。スプートニクVの販売を担当）は、スプートニクVの購入契約の破棄と、3月1日にスロバキアに到着したスプートニクV20万個の返還を要求した。RDIFはツイッターにおいて、「RDIFは、スロバキアが契約に違反したことを理由に、スプートニクVの返還を求める書簡を6日付で送付した」とコメントした。

【マトヴィチ財務相の訪露】

4月8日、マトヴィチ財務相（前首相）は、スプートニクVについて協議するためにモスクワを訪問する旨突如発表し、ドミトリエフRDIF総裁と会談を行った。翌9日、マトヴィチ財務相は、訪露後にブラチスラバで記者会見を行い、今回の訪露時の交渉によりスプートニクVの契約破棄を回避できた旨示唆する発言を行った。

【マトヴィチ財務相のハンガリー訪問】

4月9日、マトヴィチ財務相はスプートニクVについて協議するためにブダペストを訪問し、オルバーン・ハンガリー首相及びシーヤールトー・ハンガリー外務貿易相と会談を行った。シーヤールトー外務貿易相は共同記者会見において、「スロバキアは、ハンガリーの研究所におけるスプートニクVの検証を

要請した。ハンガリーはスロバキアを支援する」と述べた。マトヴィチ財務相は、「スロバキア国内には、スプートニクVの検証に適した研究所が存在しないため、ハンガリーに支援を要請した」と述べた。

【スロバキアに到着したスプートニクVのロシアによる検証予定】

4月27日、レングヴァルスキー保健相は、「4月29日、ロシアは、スロバキアに到着したスプートニクVのうち600個のワクチンを露国内で検証するために運搬する予定である」と述べるとともに、「同検証には1か月かかる見込みである」と付言した。

スロバキアは200万個のスプートニクVを購入予定であり、そのうち20万個が3月1日にスロバキアに到着した。レングヴァルスキー保健相によれば、スロバキアに到着したスプートニクVのうち46個のワクチンが現在ハンガリーで検証されている。

◆ワクチン優先接種に関する保健省プレスリリース

【45歳以上の者に対する接種登録開始（4月10日付）】

4月10日、45歳以上の者に対するワクチン優先接種登録が開始された。

【40歳以上の者に対する接種登録開始（4月13日付）】

4月13日、40歳以上の者に対するワクチン優先接種登録が開始された。

【16歳以上の者に対する接種登録開始（4月27日付）】

4月29日以降、16歳以上の者に対する接種登録が開始される。なお、70歳以上の者の接種に同行する者は、優先的に接種を受けることができる。

【今後のワクチン接種方針（4月30日付）】

5月1日以降も、70歳以上の者、重度の病人、60歳以上の者、中度の病人の順番でワクチン接種が原則優先される。これらの者に対する接種には、ファイザー／ビオンテック製及びモデルナ製のワクチンが使用される。

◆3月の変異株ゲノム解析結果（4月14日付公衆衛生局布告）

3月、公衆衛生局、スロバキア科学アカデミー（SAV）及びコメニウス大学は、1307名の陽性サンプルのゲノム解析を実施したところ、結果は以下のとおり。

（1）英国型変異株：94.9%（1240名）

（2）南ア型変異株：0.8%（11名）

（3）その他（チェコ型変異株等）：4.3%（注：変異株判定者数は非公表）

◆ 4月19日以降の規制緩和（4月15日及び16日付公衆衛生局布告）

4月19日以降、屋外公共空間において、世帯外の他人との間に5m以上の間隔を空ける場合には、マスク着用義務が免除される。

4月19日以降、全ての小売店、宿泊施設、博物館、美術館等の営業が条件付きで許可される。また、6名以下のイベントの開催が許可される（ミサ、結婚式、葬式等については、7名以上でも条件付きで開催可）。

◆ 4月26～27日以降の規制緩和（4月23日及び26日付公衆衛生局布告）

4月26日以降、フィットネスセンターの営業（ただし入場が許可される客の人数は6名まで）と、飲食店のテラス席の営業が条件付きで許可される。

4月27日以降、以下の場合、アイスホッケー、サッカー、ハンドボール、バレーボール及びバスケットボールの試合への観客の入場が認められる。

（1）2種類の陰性証明書（36時間以内に発行されたPCR検査又はLAM P検査の陰性証明書と、12時間以内に発行された抗原検査の陰性証明書）を有する観客のみ入場可。

（2）入場可能な観客数は、試合会場の座席数の25%以下に設定され、かつ屋外競技場の場合は最大2000人まで、屋内競技場の場合は最大1000人までとする。

◆ 4月29日以降の緊急事態宣言及び外出禁止令の延長（4月26日付政府布告）

4月26日、スロバキア政府は、新型コロナウイルスの感染拡大を阻止する目的で、4月29日から30日間（5月28日まで）、緊急事態宣言及び外出禁止令を延長する旨決定した。

一方で、これまで午後8時まで可能であった買い物や自然の中での滞在等が、午後9時までに緩和される。また、外出禁止令の例外のための陰性証明取得の条件も緩和される。

◆ 5月3日以降の規制緩和（4月28日付政府布告、4月29日付公衆衛生局布告）

5月3日以降、警報レベル1及び2の郡においては、午後9時から翌午前1時の間、外出禁止令が導入される（午前1時～午後9時の間は、外出禁止令が適用されず、外出禁止令の例外のために陰性証明書を取得する必要はない）。警報レベル3の郡においては、従来通り、午前5時から翌午前1時の間、外出禁止令が導入される（例外規定も従来から変更なし）。

5月3日以降、警報レベル1及び2の郡における劇場、コンサートホール、野外映画の上映等の営業が条件つきで許可される。また、抗原検査又はPCR検査の陰性証明書の提示が必要とされている場合、ワクチン接種証明書や治癒証明書等で代用可能となる。

内 政

◆ヘゲル政権の任命（4月1日）

4月1日、チャプトヴァー大統領は、ヘゲル政権を任命した。閣僚の顔ぶれは、ヘゲル前副首相兼財務相が首相に、マトヴィチ前首相が副首相兼財務相に、レングヴァルスキー・ルジヨムベロク中央軍事病院長が保健相に任命された以外に、マトヴィチ政権から変わっていない。ヘゲル政権の閣僚名簿は以下のとおり。

- (1) ヘゲル首相（与党第1党「普通の人々・独立した人達（OLaNO）」指名）
- (2) スリーク副首相兼経済相（与党第3党「自由と連帯（SaS）」党首）
- (3) レミショヴァー副首相兼投資・地域発展・IT化相（与党第4党「人々のために（Za ludi）」党首）
- (4) ホリー副首相（与党第2党「我々は家族（Sme rodina）」指名閣僚）
- (5) マトヴィチ副首相兼財務相（OLaNO代表）
- (6) ドレジャル交通・建設相（Sme rodina指名閣僚）
- (7) ミチヨウスキー農業・農村開発相（OLaNO指名閣僚）
- (8) ミクレツ内務相（OLaNO指名閣僚）
- (9) ナジ国防相（OLaNO指名閣僚）
- (10) コリーコヴァー法務相（Za ludi指名閣僚）
- (11) コルチョク外務・欧州問題相（SaS指名閣僚）
- (12) クライニアク労働・社会問題・家族相（Sme rodina指名閣僚）（注：クライニアク労働相のみ、4月7日に任命。）
- (13) ブダイ環境相（OLaNO指名閣僚）
- (14) グレリング教育・科学・研究・スポーツ相（SaS指名閣僚）
- (15) ミラノヴァー文化相（OLaNO指名閣僚）
- (16) レングヴァルスキー保健相（OLaNO指名閣僚）

◆政党支持率調査結果（4月20日）

世論調査機関AKOによる政党支持率調査の結果は以下のとおり（括弧内は支持率に基づいた議席数）。内部分裂した極右政党LSNSの支持率は2.9%まで落ち込んでいる。

政党	AKO	2020年選挙
Hlas-SD（声・社会民主主義）	23.9%(49)	—
SaS（自由と連帯）	13.8%(29)	6.22%
OLaNO（普通の人々・独立した人達）	10.0%(21)	25.02%
Smer-SD（方向・社会民主主義）	9.2%(19)	18.29%
PS（プログレッシブ・スロバキア）	8.3%(17)	※6.96%
Sme rodina（我々は家族）	7.4%(15)	8.24%
KDH（キリスト教民主運動）	4.5% (-)	4.65%
Za ludi（人々のために）	4.3% (-)	5.77%
LSNS（我々のスロバキア）	2.9% (-)	7.97%

※PS/Spoluとしての得票率。PSは、2020年国会総選挙にSpolu(共に)と政党連合を形成して参加した。

◆欧州復興基金に基づく復興・強靱化計画の政府承認、欧州委員会への送付 （4月29日付プラウダ紙）

4月28日、スロバキア政府は、欧州復興基金に基づく改革案である復興・強靱化計画（総額約65億7000万ユーロ）を承認した（注：翌29日、スロバキアは、復興・強靱化計画を欧州委員会に送付した）。今後、欧州委員会は、同計画を2か月かけて審査する予定である。スロバキアの復興・強靱化計画の投資項目内訳は以下のとおり。

- （1）環境政策（緑のスロバキア）：計23億100万ユーロ
 - ア 持続可能な交通：8億100万ユーロ
 - イ 建物の緑化・改修：7億4100万ユーロ
 - ウ 鉱工業の脱炭素化：3億6800万ユーロ
 - エ 再生可能エネルギーの利用促進：2億3200万ユーロ
 - オ 気候変動対策：1億5900万ユーロ
- （2）医療制度改革：計15億3300万ユーロ
 - ア 医療施設の近代化、医療へのアクセス向上：11億6300万ユーロ
 - イ 長期的な社会福祉及び健康管理政策の改善：2億6500万ユーロ
 - ウ メンタルヘルスケアの向上：1億500万ユーロ
- （3）教育改革：計8億9200万ユーロ
 - ア 21世紀の教育（当館注：教育の近代化を意味すると思われる）：4億6900万ユーロ
 - イ 大学の質向上：2億1300万ユーロ
 - ウ 全ての子供がアクセス可能な包括的な教育（当館注：主にロマ人の子供を対象とする教育政策を意味すると思われる）：2億1000万ユーロ

- (4) 科学、研究、イノベーション：計7億3900万ユーロ
 - ア 研究費助成の強化：6億3300万ユーロ
 - イ 人材確保、頭脳流出阻止：1億600万ユーロ
- (5) デジタル化：6億1500万ユーロ
 - ア サイバー防衛、インターネット回線の速度向上、デジタル経済等：6億1500万ユーロ
- (6) 行政改革（機能する国家）：計4億9500万ユーロ
 - ア 司法制度改革：2億5500万ユーロ
 - イ 汚職及び資金洗浄対策等：2億2900万ユーロ
 - ウ ビジネス環境の改善：1100万ユーロ

外 政

◆スロバキアによる露外交官の追放（4月18～29日当地各紙）

4月17日、バビシュ・チェコ首相は、チェコ諜報機関の調査結果より、2014年にズリーン県ヴルビエティツェ村にある弾薬施設が爆発した事件にロシア軍諜報機関（GRU）作業者が関与した疑いについて明白な根拠が得られたことから、チェコ諜報機関によりロシア諜報機関作業者と特定された在チェコ露大使館員18名をチェコから追放する旨を発表した。

これを受けて、18日、スロバキアのチャプトヴァー大統領、ヘゲル首相及びコルチョク外務・欧州問題相がチェコに対する支持をツイッター等で表明し、19日、V4各国外相は、コルチョク外相の提案により、チェコを支持するV4共同宣言を発出した。

22日、ヘゲル首相は露外交官3名の追放決定を発表し、「スロバキアの地政学的状況とチェコにおける出来事の関連性を踏まえ、スロバキアの諜報機関による情報の評価を行い、露外交官追放を決定した」と述べた。同日、チャプトヴァー大統領は、「当地露外交官3名を追放することにより、チェコに対する支持を表明するとともに、安全保障上の脅威となる外国の諜報活動からスロバキアを守ることができた」旨コメントした。

26日、V4各国首相はオンライン会合を実施し、チェコへの連帯を表明する共同宣言を採択した。

一方ロシアは、28日、スロバキアによる露外交官3名追放の報復措置として、在露スロバキア外交官3名の追放を決定した。

社 会

◆2020年のスロバキアの平均寿命（4月8日付 Symsite）

欧州統計局によると、ほとんどのEU諸国は、2020年の平均寿命が前年

比で短くなった。スロバキアの平均寿命は76.9歳で、前年比で0.9歳短くなった。平均寿命が最も短くなったのはスペイン（-1.6歳）、ブルガリア（-1.5歳）で、平均寿命が伸びたのはデンマーク及びフィンランド（共に+0.1歳）のみであった。

経 済

◆経済省による国家水素戦略案の閣議提出（4月1日付S I T A通信）

4月1日、経済省は、国家水素戦略案を閣議に提出した。同戦略案の目的は、水素分野におけるスロバキア経済の競争力強化、パリ協定に基づくカーボン・ニュートラル社会への貢献である。同戦略案は、関連省庁によるレビューを受けた後、政府によって承認される見込み。政府は、同戦略案を基に、水素エネルギーの生産、輸送、供給、保管、利用等のための制度を構築する予定。また政府は、6月までに、国家水素戦略を実施するための活動計画を策定する予定。

【国家水素戦略案の目次】

1 序章

- (1) 水素戦略に関するスロバキア政府の立場
- (2) EU気候中立に向けた水素エネルギーの使命
- (3) 水素エネルギーの定義

2 水素エネルギーの活用

- (1) 化学工業及び石油化学工業における活用
- (2) 製鉄業及び冶金工業における活用
- (3) 天然ガス産業における活用
- (4) 火力発電所における活用
- (5) 交通における活用
- (6) 水素エネルギー消費の予測

◆2021年の経済省の優先事項（4月8日付経済省プレスリリース等）

4月8日、スリーク経済相は、2021年の経済省の優先事項を発表した。主な優先事項は以下のとおり。

- (1) モホウツェ原発第三号基の完成
- (2) 国家水素戦略の策定
- (3) スリアチ温泉（バンスカー・ビストリツァ県）の再開発
- (4) ビジネス環境支援のための規制緩和
- (5) 経済外交改革
- (6) ドバイ万博での出展

- (7) 消費者保護の強化
- (8) 工業団地の建設支援を通じた地域格差の是正
- (9) 競争力及び生産性に関する政府評議会の設置
- (10) 経済省の業務合理化

◆2020年の財政赤字及び政府債務（4月22日付プラウダ紙等）

スロバキア統計局によると、2020年の財政赤字（単年）は56億900万ユーロで、対GDP比で6.16%に達した。同年の政府債務（累年）は、551億8100万ユーロで、対GDP比で60.57%に達した。

予算責任院（RRZ）の分析によれば、パンデミックの影響（税収の減少、医療分野等における歳出増加）により、財政赤字が前年比で3.9%悪化した。フィツォ及びペレグリニ政権期の経済政策（社会政策分野での歳出増加等）も財政赤字悪化の要因である。

◆水素列車運行計画（4月23日付経済新聞）

交通・建設省は、2025年に、ノヴェー・ザームキ（ニトラ県）とプリエヴィザ（トレンチーン県）の間で、水素エネルギーを動力とする列車の試行運転を計画している。スロバキア国鉄のコヴァーチ報道担当は、「経済的合理性や技術的実現可能性を考慮し、水素列車の運行について検討したい」と述べた。水素列車の導入は、（欧州復興基金に伴う）スロバキアの復興・強靱化計画や、国家水素戦略案でも言及されている。スロバキアが受け取る予定の欧州復興基金の資金には、水素列車又はハイブリッド列車5台分の予算が含まれている。

（了）

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

